

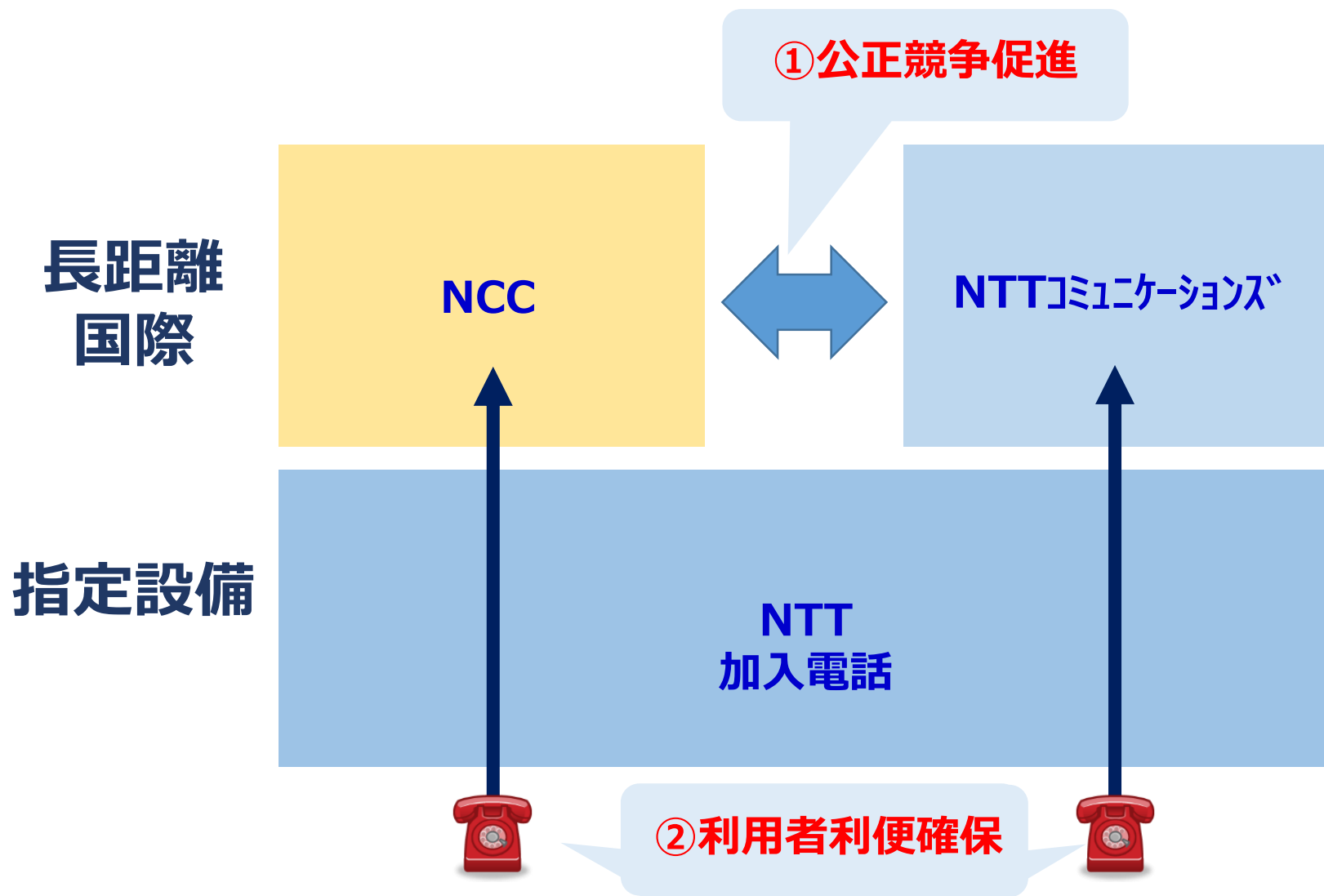
# マイラインについて

2016/11/04

ソフトバンク株式会社

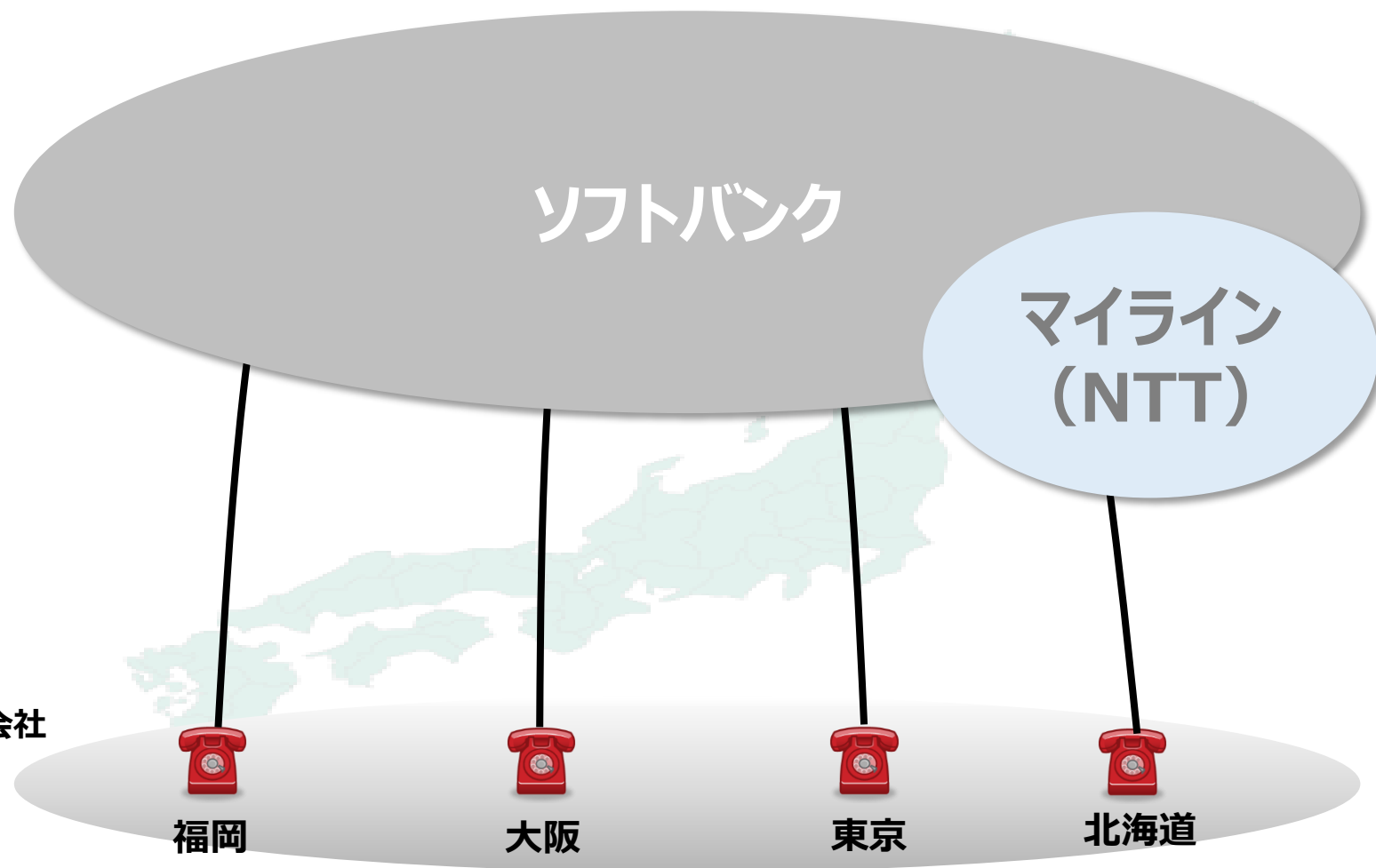
# マイライン導入(2001年5月)

①公正競争促進②利用者利便確保を目的にマイライン導入



# マイラインの必要性

直収電話とマイラインを組み合わせると一体的なサービスを提供  
マイラインはサービス競争に有効に活用されている



〇〇株式会社

福岡

大阪

東京

北海道

# マイライン上でのサービス競争（料金）の例

現在も競争は行われている  
マイラインを廃止すれば競争・選択が無くなる

(円/3分)

500

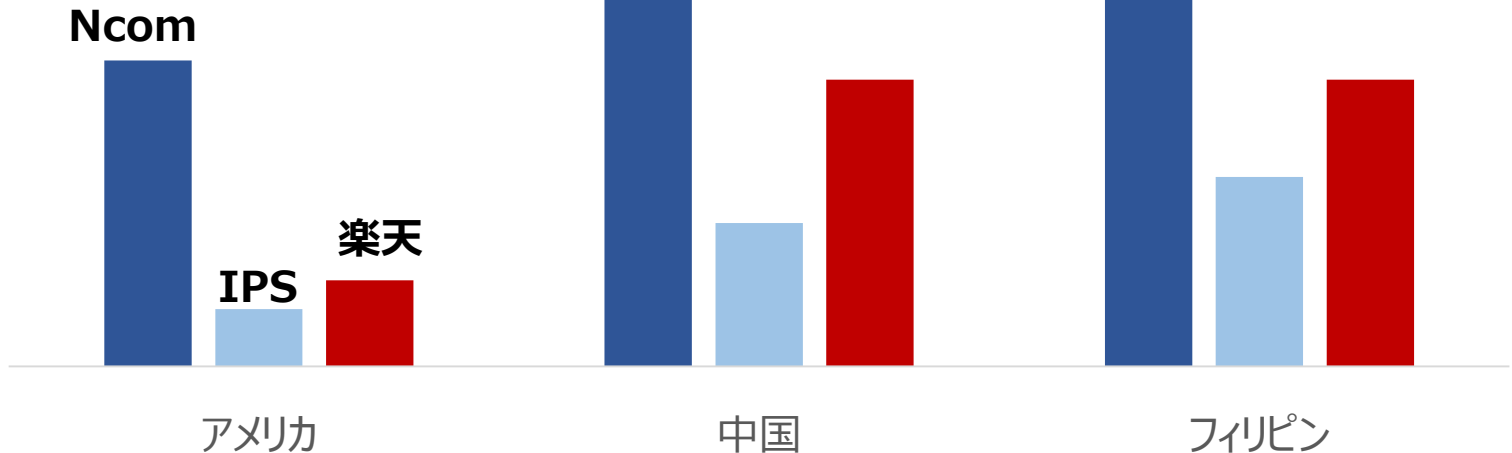
400

300

200

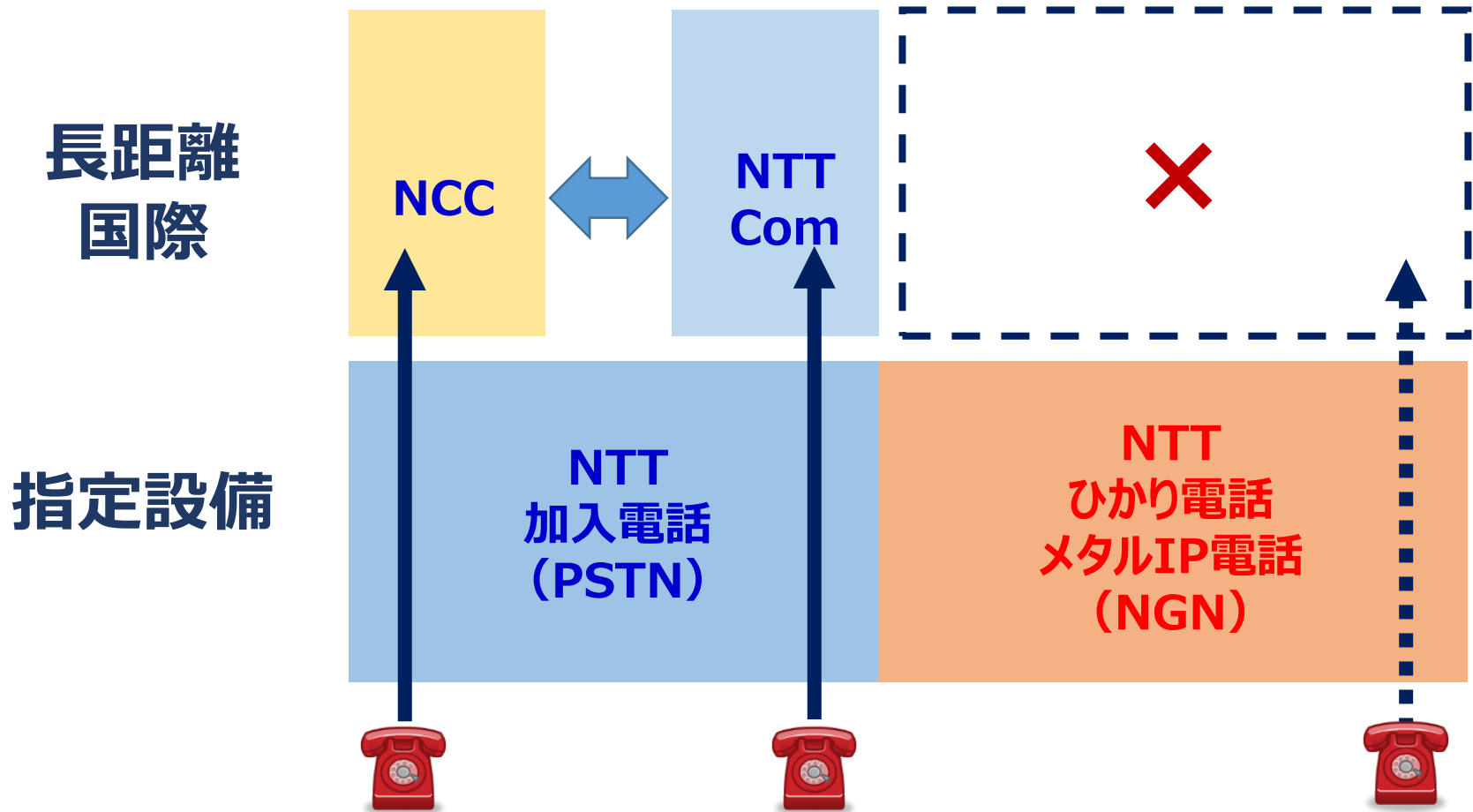
100

0



# NGNに関して

**NGNはPSTNの移行先であり、指定設備  
NGN(IP電話網)でもマイラインが必要**



# マイラインに対する弊社意見

## 加入電話（メタルIP電話）の環境

- マイラインは、第一種指定設備（ボトルネック設備）上での競争促進およびユーザ利便（＝競争条件の整備）から導入された。
- 現在も、競争事業者にとって全国津々浦々に自前設備を構築することは不可能。
- 電話市場において、アクセスを持たない事業者とのサービス競争を促進するにはマイラインは必須の機能。
- NTT殿ユーザ料金が全国一律であることと、NTT殿が主張される「IP電話において距離区分ごとの競争はなじまない」ということとは意味が違ふ。前者は競争の一結果、後者は競争自体の制限。
- PSTNマイグレはNTT殿都合での移行。事前登録事業者を変更するといったユーザの手間がなく移行できることは重要であり、また、サービス競争促進、ユーザ利便（00XYダイヤル不要）のためには、今と同じ条件を実現することが必要。
- 卸は接続があるから有効であり、卸のみ提供前提での議論は競争環境の減退。また、00XY番号ルーティング機能ではユーザ利便が落ちるため代替にはならない。
- NTT殿との2社間協議において再三「現行のマイラインと同様の仕組みを実現した場合のコスト試算の提示」を求めてきたものの「マイラインを継続する意義は乏しいため、コスト試算は実施しない」と一切応じて頂けない。
- まずNTT殿がコスト等諸条件や課題等を示し、議論すべき。

## NGNの環境

- NGNはPSTNの移行先であり第一種指定電気通信設備。PSTNと同等に扱うべき。
- NTT殿が主張する「回線単位の競争」は、アクセスを持たない事業者の参入を否定するものであり、固定電話市場における独占回帰を目指すもの。
- NGN IP電話網でもPSTN同様に、マイラインによる競争環境の整備を行うべき。